

2023年9月1日

福井県知事 杉本 達治 様

戦争する国づくり反対福井県連絡会

福井県労働組合総連合

福井県平和委員会

新日本婦人の会福井県本部

福井県民主医療機関連合会

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟福井県本部

平和・民主・革新の日本をめざす福井の会

福井県商工団体連合会

安保破棄福井県実行委員会

憲法改悪に反対し、九条を守る福井県共同センター

自衛隊の合同福井市中パレード、並びに

自衛官募集での「適齢者名簿」の提供中止を求める申し入れ

自衛隊の合同福井市中パレードは、2013年に「鯖江駐屯地創立50周年」を記念して行われたものを、その翌年から恒例の年中行事として続けられてきました。コロナ禍で中止・縮小した年もありましたが、昨年からは制限を解除して行われ、今年は完全に従前のような開催になります。昨年の参加者は2万人に上り、今年はさらに大人数が集まることが予想されます。コロナ第9波ともいわれる状況の中、市民・県民の密集をどう考えているのでしょうか。

岸田首相は、「敵基地攻撃能力の保有」「防衛費の2倍化」を決め、日本を再び戦争ができる国に変えようとしています。こうしたときに、自衛隊の福井市中パレードを実施することは、市民・県民に自衛隊を賛美する意識を育てるためのものと言わざるを得ません。自衛隊が武器を持って海外に派兵され、日本国民はそれを物心両面で支えるという戦前の日本に戻るようなことがあってはなりません。

また、自衛官募集に関して、地方自治体が住民基本台帳の高校3年生・大学4年生の名簿を提供することが全国的に広がっています。福井市でも「自衛隊法97条・同法施行令120条」を根拠に提供し続けています。しかし、個人情報保護法では、本人の了解なしに勝手に個人情報を提供することは認められていません。地方自治体は国の圧力に抗し、憲法や個人情報保護法を守る観点から対応すべきです。

私たちは、こうした観点から以下のことを求めます。

記

- 1 自衛隊の福井市中パレードは中止すること。
- 2 福井市中パレードに福井県知事はじめ県幹部は参加しないこと。
- 3 県民・市民の憩いの場である中央公園を、自衛隊車両、装備品展示に使わないこと。
- 4 自衛隊への勧誘・募集協力で、高校3年生・大学4年生の個人情報を勝手に提供しないこと。
- 5 「人を殺し、殺される」危険が迫っている自衛隊への勧誘・募集協力をやめること。